

ボランティア活動グループ訪問記

ボヤマンマ



障がいのある方のための
「新成人を祝う会」を文子と11年
記憶に残る成人式に！
〜新成人を応援するまで〜



2月の半ば、もうあたりが暗くなった時刻に上簿の「(一般社団法人)相模原市手をしなく育成会」の事務局を訪問しました。そこで「新成人を応援する会」の代表、藤井恵美子さんが待っていてくださいました。藤井さんは「手をしなく育成会」の副理事長を務めていらっしゃいます。そして風間は保育士さんとして働いておられ、1日の仕事を終えてお話を伺う場を作ってくださいました。

＊「新成人を応援する会」を立ち上げるまでの経緯を教えてくださいませんか。

支援学校を卒業した子どもたちは、作業所や施設に通うなど社会に触れながら成長して20歳を迎えます。市では「はたちのせい」が毎年開催され、そこへ障がいのある成人も招待されるのですが、式典の間じっと座っている方も知らない人に囲まれるのが苦手な成人も多々います。以前は「静かにできないうちでは」別室に案内され会場に入れないこともありました。障がいがあっても晴れ着姿をみてもらいた



代表の藤井恵美子さん

い、成長の実感を
持っている場を共に
持ちたいという
家族の声が毎年
あがりましたが、
市もなかなか対
応できないうまま。

ところで、市に申し込んだ場を用意してもらおうと活動するより、自分たちで場を作ったほうが早いと考え、11年前「この会を育成会の仲間たちと立ち上げました。すでに申し込んだ会を立ち上げていた横浜や川崎の例を参考にしながら、1年後には「新成人を祝う会」の開催にきつきました。

＊大変なエネルギーと実行力ですね。いわばごいりなき苦労があったのでは？

支援学校やれんぎょう、市民活動サポートセンターに協力していただき、仲間の会費を増やし、お金もない中、記念すべき回目は総会出席センターが会場 集まった成人は40名にもなり、参加者や家族の喜びの声は継続する力となりました。

次の年の計画準備は1年前から取り掛かります。後援依頼、資金集め、出し物の依頼、会場予約、当日の会の準備、参加者への参加呼びかけなどなご時間も労力もかからず、かなりの仕事量です。特に会場の確保は優先権もなく、毎年苦労してきました。

また、参加者は学校卒業後という方もあり、連絡が難しく、市内の事業所や作業所一軒一軒電話をして開催を新成人に知らせています。市の広報やチラシの配布もしていますが、口コミで開催が伝わる方が多く、直前に知ったと申し込まれる方もいます。一生に一度の20歳のお祝い。取りこぼさず知らせたいと頑張ってきました。



＊今年のチラシにも「記憶に残る成人式に」とありました。会場の様子は、ほい通の20周年パーティーの会に出席したボラ協の加藤会長の報告が載っています。ボラ協は「新成人を祝う会」の後援団体の一つです。

今年第10回 去る1月21日に式典と祝賀会という構成でけやき会館「大樹の間」で開催されました。フロア前は祝賀会としてスライドショーやよみかじやフラダンス、バンドなどの出し物があり、お菓子とジュースで乾杯も、新成人が楽しめる会となりました。

＊今期限りで主催の「新成人を応援する会」は解散することが決まると発表され、大変驚き取材をさせていただきました。

この祝う会に向けての仕事量は多々、仕事を引継ぐ会員が年々減り、今の形では続けられないのが現実です。参加者の感謝や喜びの言葉は何よりなのかもしれませんが、資金も集まるようになってきましたが、運営の難しさから閉会が決まりました。

「新成人を応援する会」は今年度で閉会しますが、「新成人を祝う会」の開催は新しい団体を引き継がれることになる、これから続いていきます。

マンパワーの不足は何処の団体も同じく感じています。私たちも障がいのある方が身近にいらしたら、こういう会があるとお伝えしたいものです。周りに気兼ねなく参加できる「記憶に残る成人式」の精神。途切れず引き継がれていくことを願ってやみません。「新成人を応援する会」会員の皆様、長い間の活動本当にお疲れ様でした。(恒藤・杉崎)

★新成人を応援する会

〒252-0243 相模原市中央区上溝 1887-1
相模原市手をしなく育成会事務局内
☎: 042-759-4310
代表 藤井恵美子